

平成２２年度理事会（総会）議事録

日 時：平成２２年１月１７日（日）１３時～１６時３０分

場 所：クーポール会館

出席者：６７名

会長挨拶

昨年は高成績の方が多く、女子ナショナルチーム候補に富士市出身の深澤昭恵さん、Ｕ１４に富士市立岩松中の楠えりかさん、浜松市出身の尾上胡桃さんが選出された。今年１年は昨年以上に頑張っていきたい。

議事

１．２１年度事業報告（落合理事長）

（１）県主催の行事の反省点

- ・アンダー１４ステップ２が有度山から富士宮に当日変更になり、役員・選手に迷惑をかけた。
- ・県シングルス大会は参加者が少なく中止した。東海連盟で２３年度から東海シングルス選手権大会を実施する。種目等については今後検討する。

（２）大会実施報告

- ・県連盟主催大会については、天候に恵まれほとんどが予定通り実施できた。
- ・理事会資料の大会成績に基づき、全国大会の上位入賞者、チームの紹介をした。
- ・今年は東海ブロックの代表になって国体に出場してほしい。

（３）会議等経過報告

- ・理事会資料の会議経過報告に基づき説明。２１年度はマスターズ及び国体東海予選の大会準備会議が多かった。

２．２１年度表彰者（落合理事長）

- ・理事会資料の表彰者に基づき説明

３．２１年度会員登録状況及びジュニア審判資格状況報告（落合理事長）

- ・会員登録状況について中学生は有料化前の８０％ぐらいまでになった。
会員登録数により決まる天皇杯・皇后杯の参加枠が上位１０支部に入った。
- ・審判資格の認定証を２１年度より一旦廃止したが、再度復活した。

４．２１年度収支決算報告（落合理事長）

- ・理事会資料の収支決算書に基づき予実差の大きい項目について説明。
収入：スポーツマスターズ収入の予算未計上、審判関係収入の増
県スポーツ振興室からの収入増、要覧・マスターズの広告料増
支出：スポーツマスターズ支出の予算未計上、審判関係納入金の増
競技者育成プログラム推進費の支出増、要覧作成費の減など

- ・ 21年度より大会運営役員、強化委員、審判講習会講師等に日当を支払いましたが、次期繰越金は前期とほぼ同額となった。
- 5. 21年度監査報告（松浦監事）
 - ・ 12月6日に監査を実施し、すべて適正に処理されていた。
 - ただ預金の一部を定期することを提案した。結果200万円を定期にした。
- 6. 21年度の報告に対する質問、意見、承認（落合理事長）
 - ・ マスターズの収支についての質問があり、別紙でマスターズおよび国体東海ブロックの収支を説明。（マスターズの詳細は常任理事会で説明する）
 - ・ 理事長の事務経費を東海4県の理事長と同等にと意見があり、年額10万円で承認された。

< 21年度事業報告、収支決算報告が承認された。 >

- 7. 22年度日連事業計画報告（落合理事長）
 - ・ 理事会資料のとおりである。主な変更点はJOCジュニア選手権がシングルスのみになる。
- 8. 22年度静岡県連盟事業計画（落合理事長）
 - ・ 東部、中部、西部各地区の連絡協議会を開催したい。
 - ・ マスターズ、スポレク、ねんりんピックの強化練習を昨年と同様実施したい。
 - ・ 会員登録は現状を維持していきたい。
 - 会員登録の漏れをなくするため各協会でクラブの登録者への周知をお願いします。
 - ・ 指導育成事業は高体連と連携してやっていく。
 - ・ 公認スポーツ指導者講習会は県体育協会と相談し、参加人数が集まれば実施する。
- 9. 22年度大会日程の調整（落合理事長）
 - ・ 予定表に基づき県連盟主催大会について説明

変更点

 - ・ ダンロップカップ1年生大会に日程変更(1/15を1/8へ、予備1/22を1/15へ)
 - ・ 県レディース秋季大会の日程変更(10/14を10/7へ)
 - ・ 中学総体が22年度より、東、中、西持ち回りになった。従来は県選手権を東部、ヨネックスカップは西部、総体は中部となっていた。

再検討されたい。

回答：中体連が決定したことなので、県連では意見提起しかできない。

中体連として過去は持ち回りしてきた。16年より中部で実施してきたが今回3年間は持ち回りで実施することが決定した。

中体連として、再度検討されたい。

- ・国体１次予選とアジア予選の日程が重なっている。国体１次予選の免除措置について検討してほしい。

回答：現在は過去の試合結果による優遇措置はないが、常任理事会までに検討したい。

- ・スポーツ指導員研修会の予定日には、市民大会を含め大会を避けてほしい。

10. 専門委員会委員の変更

- ・平成２２年・２３年度専門委員会役員名簿により説明
- ・競技者育成部会に坪井正信さんを追加、梅津健一さんを削除
- ・小学生委員会に萩田貢さんを追加
- ・佐野康輔名誉会長は病気のより県議会議員を辞職されたので、名誉会長から外す。

11. ２２年度収支予算提案（落合理事長）

- ・理事会資料により説明
マスタース・国体東海予選など大会減により収入・支出とも減、また審判関係費も収入・支出とも減。スポーツ振興室および体育協会からの収入および広告収入減。

< ２２年度事業計画と予算案が承認された。 >

12. その他の連絡および要望、質疑

- ・ジュニア審判講習会が各地でいつ実施されるのかの情報がほしい。また実技を実施しないで半日で終了している講習会がある。

回答：各地の実施状況は今のところ未定であり、その都度事務局に問い合わせをお願いします。なお焼津協会は８月２４日に予定している。また審判講習スケジュールについて基本日程を原則に講師の判断で実施してください。実技を省略するなど極端な省略による審判技能が欠落することがない講習会をお願いします。

- ・西部ではソフトテニス部のある高校が減っている。高校生がやれるように配慮してほしい。また試合進行を見ている人がわかりやすくし、観客席に見る人が多く来るようにPRしていく必要がある。
- ・全日本選手権決勝のテレビ放送をもっとPRしてほしい。
- ・ベンチコーチの２級審判取得について

大会要項へ外部ベンチコーチの２級審判資格義務の記載をしてはどうか。

顧問まで２級審判取得は難しい。

急に大会要項に記載するのは無理があるので、当面は２級審判取得が望ましいとしてはどうか。

回答：これらの意見を参考に外部コーチ、顧問の会員登録、２級審判員資格のあり方について検討する。

- ・ 審判認定番号について、20年度までの認定番号は会員番号に変えておく必要があるか。

回答：試合の申込や更新時は20年度以前の取得者は前認定番号を使用してください。

- ・ 中学生の指導の参考としてインターネットで「テニスが10倍うまくなる」が掲載されています。ご利用ください。
- ・ 今年は台湾へ3泊4日で親善訪問をしたい。30名ぐらいを予定していますので、参加者を募集していきたい。

佐野副会長閉会の挨拶

長時間に渡り重要な課題の審議また貴重な意見要望ありがとうございました。

理事会終了後、21年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀団体等の表彰を行った。